循環器病 ,糖尿病 ,がん

変更点・主要な点は*下線*で示す

生活習慣の改善に努め,肥満を予防し,循環器病,糖尿病の発症予防に努めます 40歳になったら、年に1回必ず健康診査を受診し、早期発見・早期治療に努めます 健康目標 糖尿病にならないよう日頃から太りすぎに注意します 女性は 20 歳, 男性は 40 歳になった6年 1 回がん検診を受け, 自分自身の健康を見直しま 疾病予防対策は、「栄養」「運動」「休養」などの一次予防と「早期発見・早期治療」な どの二次予防を適切に組み合わせることが重要である。 まず,「早期発見」の視点で見ると,基本健康診査受診率は 43.7%と 2.2Pt 減少傾向 にあり、また、がん検診受診者数は全体的に横ばい傾向にある。また、がん精密検査受診 率は全体的に減少傾向にある。 「早期治療」の視点で見ると、「血圧値が高いものの治療や取組をしていない人の割合」 は,男性24.4%・女性16.9%である。また,「コレステロール値・中性脂肪値が高いが 中間評価結果の概要 治療や取組をしていない人の割合」は,男性44.2%・女性28.2%である。また,「糖尿 病または血糖値が高いといわれたが、治療や取組をしていない人の割合」は 23.0%であ る。つまり , 健康診査受診結果から,要治療や要医療の判定をされた人のうち,約 2~3 割程 **度が治療や取組をしていない状況**にある。 このようなことから,まずは,疾病の早期発見のために,年 1 回必ず健康診査の受診を勧奨するとともに,それらの結果から,何らかの異常がある場合には,保健指導と併せて早期治 *療の勧奨が重要*である。併せて,*メタポリックシンドロームの考え方を取り入れた生活習慣病対 策を推進することが重要*である。 ・基本健康診査受診率 43.7% 特定健康診查受診率 100% ・血圧値は要指導,要医療者の割合 50.2% 33.8%以下 ・血圧値が高いものの治療や取組をしていない人の割合 男性 24.4% 24.4%以下 女性 16.9% 16.4%以下 ・基本健康診査で「要医療」に該当する人の割合(空腹時血糖検査) 10.5% 7.3%以下 ・基本健康診査で「要医療」に該当する人の割合(HbA1C)) 5.3% 2.9%以下 重点目標値 ・基本健康診査の結果,要医療となった人で,事後指導を受けている人の割合 86.2% 86.2%以上 ・糖尿病または血糖値が高いといわれたが,治療や取組をしていない人の割合 23.0% 23.0%以下 ・がん検診受診者数 胃 11,259 人 25,700 人以上 子宮 10,815 人 16,700 人以上 乳 13,022 人 19,800 人以上

重点目標値	大腸 29,914 人 44,800 人以上
	肺 35,548 人 51,200 人以上
	・精密検査受診率
	胃 78.3% 100%
	子宮`【頸部】67.8% 100%
	子宮【体部】68.0% 100%
	乳 83.2% 100%
	大腸 71.1% 100%
	肺 74.7% 100%
今後の重点取組	・ 循環器病 , 糖尿病対策におけるポピュレーションアプローチ (普及啓発)
	・ がん(精密)検査受診率の向上
推進テーマ	・ 年1回,健(検)診を受けよう
	・ 循環器病,糖尿病,がんの初期症状を見逃さないようにしよう
実施主体別の取組	【個人,家庭】
	・ 栄養,運動,休養の大切さを認識し,循環器病予防のための生活習慣の改善を図る
	・ 太りすぎに注意し,適正体重を維持するよう努める
	・ 年に 1 回 , 定期的に健 (検) 診を受診する
	・健(検)診結果から,有所見の場合には,必ず医療機関を受診する
	・ 糖尿病と診断されたら,継続して治療を受け,病気の進行を防ぎ合併症を予防する
	【医療保険者,医療機関,職場,行政】
	・ 健(検)診を充実するとともに受診機会を拡大し,受診率の向上に努める
	・・健(検)診結果に基ついた,事後指導の允実を図る 【行政】
	・ 地域において,循環器病や糖尿病,がん予防に必要な食生活や運動などの生活習慣改善 たまばするために情報提供や保護者が、根熱等のポピールーションスプローチ(業の発験)
	を支援するために情報提供や健康教育・相談等のポピュレーションアプローチ(普及答発) **#**********
	<u>を推進する</u>
	「健康づくり推進員」。食生活改善推進員」 まずは、白こまも体験、がくめぬまるめます。
	・ まずは,自ら基本健診・がん検診を受診する
	・健診を受診するようご近所の人へ呼びかけ、受診勧奨を行う
	・ 地区まつり等で、循環器病や糖尿病、がん予防に必要な食生活や運動などの生活習慣改
	<u>善に関する知識の普及啓発を図る</u>